

研究構想図

新学習指導要領で求められる基本方針

①「生きる力」の育成と、それを支える「確かな学力、豊かな心、健やかな体」の調和の取れた育成。
→主体的・対話的で深い学びの実現

②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得。これらを活用する 思考力・判断力・表現力の育成。
→課題解決能力の育成

③道徳や体育の充実による、豊かな心と健やかな体の育成。
→多文化共生社会の担い手やグローバル人材の育成

※国際理解に対する関心や理解を深め、グローバル社会を生き抜く能力の育成を図るうえで必要な知識を享受し、国際教育の充実を図る。

保護者の願い

- ・明るく規律ある生活を送ってほしい。
- ・学習に励み学力を身につけ進路を切り開いてほしい。
- ・社会性を身につけ、社会に貢献できるようになってほしい。

教育目標

深く考え実行する生徒
自ら学び伸びていく生徒
励まし合い助け合う生徒
礼儀正しく規律ある生徒
個性豊かでたくましい生徒

生徒の実態

(良い点)

- ・「上級生が背中を見せる」
- ・優しい心と素直な姿勢。

(不足する点)

- ・コミュニケーション力が不足
- ・書くことや人前での発表が苦手
- ・学習習慣、基礎学力の未定着
- ・自主性が無く、指示待ちが多い

めざす生徒像

- ・国際教育の推進を通してグローバル社会を主体的に生き抜く生徒

《研究主題》

東京2020大会の機会を生かした国際教育の推進

—知・徳・体からなるオリンピック・パラリンピック教育の充実を通して—

研究仮説

学習目標を明確にし、学び合いの力を育てることで
グローバルな視点をもつ生徒を育成する

研究推進委員会

第1分科会（教科）	第2分科会（道徳）	第3分科会（総合・特活）
<p>課題解決</p> <p>知・知識的側面</p> <p>仮説</p> <p>「課題解決型学習を取り入れた授業を展開し、生徒が自ら課題を発見することで、自ら道を切り拓いていく能力を育成する事ができる。」</p>	<p>人権意識</p> <p>徳・道徳的側面</p> <p>仮説</p> <p>「自他の生命を尊重し、相手の立場に立って、考えたり行動したりすることで、自分及び相手を大切にすること、自分及び相手を大切にすること、心情・態度を育成することができる。」</p>	<p>多様性</p> <p>体験・主体的実践力</p> <p>仮説</p> <p>「体験活動を中心に、様々な文化や価値観を背景とする人々との交流を通して、世界の多様性に気づき、行動できる能力を育成することができる。」</p>
<p>学習目標を明確にした学び合いのある授業</p>		